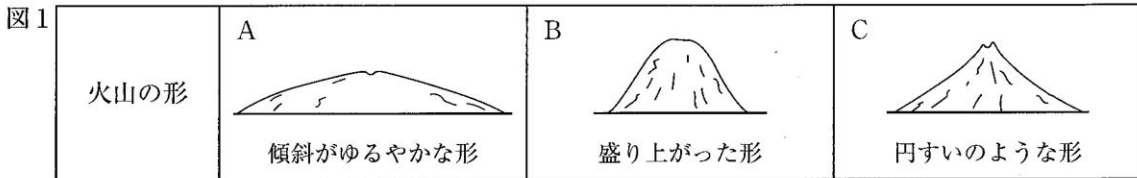


4 図1は、桜島、雲仙普賢岳、マウナロアの3つの火山をその形でA～Cの3つに分けたものです。

これについて、あとの問いに答えなさい。



(1) 図1のAの形の火山のマグマのねばりけと噴火のしかたは、Bの形の火山と比べてどのようになっていますか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア マグマのねばりけは強く、激しく爆発的な噴火をする。  
イ マグマのねばりけは強く、比較のおだやかな噴火をする。  
ウ マグマのねばりけは弱く、激しく爆発的な噴火をする。  
エ マグマのねばりけは弱く、比較のおだやかな噴火をする。

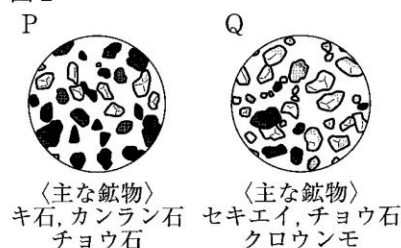
(2) 図1のA、Bの形の火山の組み合わせとして最も適当なものはどれですか。次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア A…桜島      B…雲仙普賢岳      イ A…桜島      B…マウナロア  
ウ A…雲仙普賢岳      B…桜島      エ A…雲仙普賢岳      B…マウナロア  
オ A…マウナロア      B…桜島      カ A…マウナロア      B…雲仙普賢岳

(3) 図2のP、Qは、図1のA、Bいずれかの形の火山から噴出した火山灰を、双眼実体顕微鏡で観察したようすです。

①Pの火山灰は、A、Bのどちらの形の火山から噴出したものですか。記号で答えなさい。また、②そのように考えられるのはなぜですか。最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

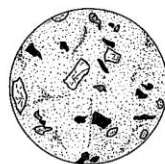
図2



- ア Pの火山灰は、Qの火山灰より無色鉱物の割合が高いから。  
イ Pの火山灰は、Qの火山灰より鉱物の粒のサイズが小さいものが多いから。  
ウ Pの火山灰は、Qの火山灰より含まれる鉱物の種類が少ないから。  
エ Pの火山灰は、Qの火山灰より有色鉱物の割合が高いから。

(4) 図3は、図1のCの形の火山から採取した火成岩の表面を、双眼実体顕微鏡で観察しスケッチしたものです。これについて次の各問いに答えなさい。

図3



- ① 図3のような火成岩のつくりを何組織といいますか。名称を答えなさい。  
② 次のうち、図3のようなつくりをもつ火成岩はどれですか。3つ選び、記号で答えなさい。

- ア 玄武岩      イ 花こう岩      ウ 斑れい岩  
エ せん緑岩      オ 安山岩      カ 流紋岩

- (1) マグマのねばりけが弱いと比較のおだやかな噴火をして傾斜がゆるやかな形の火山に、マグマのねばりけが強いと激しく爆発的な噴火をして盛り上がった形の火山になります。  
(3) ねばりけが弱いマグマからできた火山灰は有色鉱物の割合が高く黒っぽい色、ねばりけが強いマグマでできた火山灰は無色鉱物の割合が高く白っぽい色をしています。  
(4) 火成岩のうち、流紋岩、安山岩、玄武岩などの火山岩のつくりを斑状組織、花こう岩、せん緑岩、斑れい岩などの深成岩のつくりを等粒状組織といいます。

(1)	エ	16
(2)	カ	17
(3)	① A    ② エ	18
(4)	① はんじょう 斑状	組織
	② ア, オ, カ	順不同完答